

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	民生部門排出抑制促進事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成24年度		担当課室	地球温暖化対策課国民生活対策室		課長 和田 篤也			
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第3号 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	フォーラムを開催し、温暖化防止の施策や最新の環境技術について、各自治体と温暖化防止国民運動が連携しPR活動を実施することで、全国各地での温暖化防止国民運動の認知の拡大、6つのチャレンジの実践への機運の醸成を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各地域の特性に応じた地球温暖化の現状、国・地方自治体の温暖化防止施策のPR、温室効果ガス削減に向けたハード・ソフトを織り交ぜた様々な取組事例等を地域との連携でフォーラム形式で展開することにより、国・地域が一体となって温室効果ガス削減を促進する。これら施策を展開することにより、地域における低炭素社会に向けた先進的取組の掘り起こし、地域内での連携活性化等を通じたワークスタイル・ライフスタイルの変革を促進する。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	201	159	77				
		補正予算	-	-	-				
		繰越し等	-	-	-				
	計		201	159	77				
	執行額		100	25	27				
執行率 (%)		50%	16%	35%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	省エネ・照明デザインアワードへの事例応募数			成果実績	件	96	56	68	-
				達成度	%	120%	56%	68%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	省エネ・照明デザインアワードへの事例応募数			活動実績 (当初見込み)	件	96	56	68	-
						(100)	(100)	(-)	
単位当たりコスト	-			算出根拠	上記数値は本事業の成果の一部であり、成果一単位あたりを切り出してコスト削減量をはかることができない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	-	-	-						
	計	-	-						

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	1990年に比べ約50%(2011年度)も増加している民生部門のCO2排出量を削減することは、京都議定書の6%削減目標達成には不可欠である。そのためには先進的な取組を広く全国に展開する必要があり、国で実施することが適切である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	契約は一般競争入札で契約している。当初見込んでいた予定価格よりも少ない額で落札されたことにより不用率が大きくなっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○			
事業 性 の有 効	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	先進的な取組を冊子やホームページで分かりやすく全国に展開することで、他の手段と比較して効果的な手段を選択している。活動実績についても、一年を通じて計画的に事業を推進し、成果物(冊子)についても自治体、業界、NPO等に高い評価を得ており、追加配布も実施。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>・省エネルギー照明機器の導入そのものに対する補助・支援ではなく、既存の施設、設備を対象としたアワードを開催し、その様子や個別の事例を広く紹介するなど少ない予算で大きな波及効果を上げることができた。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	309	平成24年	305

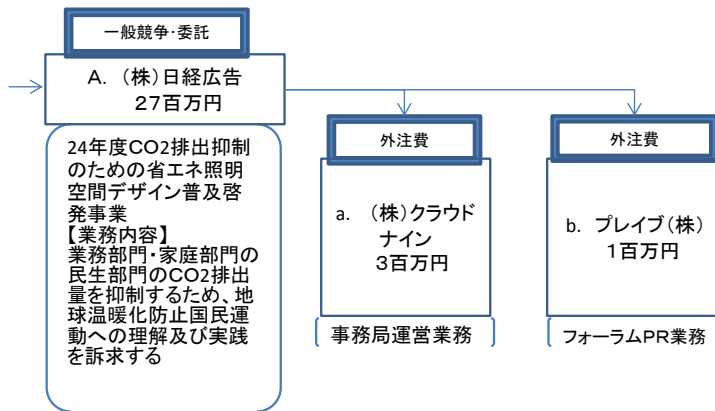
※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
27百万円

民生部門排出抑制促進事業

【内容】

地域における低炭素社会に向けた先進的取組の掘り起こし、地域内での連携活性化等を通じたワークスタイル・ライフスタイルの変革を促進する。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.株式会社日経広告					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	省エネ・照明デザインアワード関連費、WEB制作関連費、省エネ・照明デザインブックの制作、省エネ照明空間デザイン優秀事例映像制作	17			
外注費	プレイブ(株)、(株)クラウドナイン	4			
消費税		1			
人件費	部長:50時間、一般:330時間	1			
旅費・交通費	取材等に係る出張	1			
諸謝金	審査員等謝金	1			
借料及び損料	会場及び付帯設備使用料	1			
印刷製本費		1			
計		27	計		0
a.(株)クラウドナイン					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事務局運営業務	3			
計		3	計		0
b.プレイブ(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	フォーラムPR業務	1			
計		1	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日経広告	業務部門・家庭部門の民生部門のCO2排出量を抑制するため、地球温暖化防止国民運動への理解及び実践の訴求	27	1	100%

a.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社クラウドナイン	事務局運営業務	3	-	-

b.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ブレイブ株式会社	フォーラムPR業務	1	-	-